

府中市制施行70周年記念誌

# ともにつむぐまち

府中市制施行70周年記念誌



70th Anniversary Handbook



1954 —————> 2024

ともにつむぐまち  
2024



2024

## ともにつむぐまち 府中市制施行70周年記念誌

発行：府中市  
令和6年(2024年)3月

編集：府中市政策経営部秘書広報課

〒183-8703 東京都府中市宮西町2丁目24番地  
Tel: 042-364-4111(代表)  
<https://www.city.fuchu.tokyo.jp/>



府中市

## CONTENTS

1	市長メッセージ
2	OPEN UP THE FUTURE !!
4	ともにつむぐまち
4	case I [心×自然]
6	case II [地域×学生]
8	case III [多様性×多文化]
10	case IV [まち×産業]
12	未来へつむぐ風景
	—70周年のその先へわたしたちが残したいもの—
12	その1—春夏秋冬—
14	その2—水と緑—
16	その3—文化と芸術—
18	その4—にぎわい—
20	その5—スポーツ—
22	歴史をつむぐ
22	—いにしえからの記憶—
24	—わたしたちの記憶— 府中市70年のあゆみ
28	府中のまちづくり
28	保健・福祉
30	生活・環境
33	文化・学習
34	都市基盤・産業
36	モーターボート競走事業
37	姉妹・友好都市との交流
37	長野県南佐久郡佐久穂町
37	オーストリア共和国ウィーン市ヘルナルス区
38	府中市のプロフィール
40	府中まちあるき MAP

## 市長メッセージ MESSAGE

「歴史が息づく。未来が芽吹く。」市制施行70周年のキャッチコピーが、公募により多くの皆様からいただいたご提案から選ばれました。先代が築きあげてきた確かな歴史を、希望が持てる未来へとつなげていく、そんな想いが込められた言葉になります。

本市は、古代に国府が置かれ政治、経済、文化の中心として栄え、近世では宿場町としてにぎわい、現代では26万人を超える自治体へと成長を遂げました。

前回の記念誌を作成してから10年、その間に世界的な混乱を招いた新型コロナウイルス感染症の拡大、各地で起こる地震や台風等による災害の発生など10年前は想像することもできなかった難局を幾多も迎えることとなりました。本市も例外ではなく、その影響を受けるものもありましたが、市民や関係団体の皆様との協働、そして絆により乗り越えてくることができました。

こうして迎えた市制施行70周年。昨年には、新庁舎「おもや」が完成し、市役所は新たなスタートをきりました。今後、「はなれ」が完成することにより、すべての新庁舎が完成となり、次の時代の1ページを刻んでいくこととなります。

府中市は協働のまち。これからの府中の未来が明るく、やさしさに包まれた魅力あるまちとして発展を遂げられるよう、市民の皆様と手を携えて各施策に取り組んでまいります。

市制施行70周年を記念して、この記念誌は過去、現在そして未来へ拓く、軌跡が掲載してあります。府中市の魅力を再発見し、市民の皆様との絆をさらに深め、次の世代へ希望のバトンを渡すことができるまちづくりを進めていく、そんな想いを込めて作られたこの一冊を是非ともご覧ください。

たかの のりお  
府中市長 高野 律雄





1960



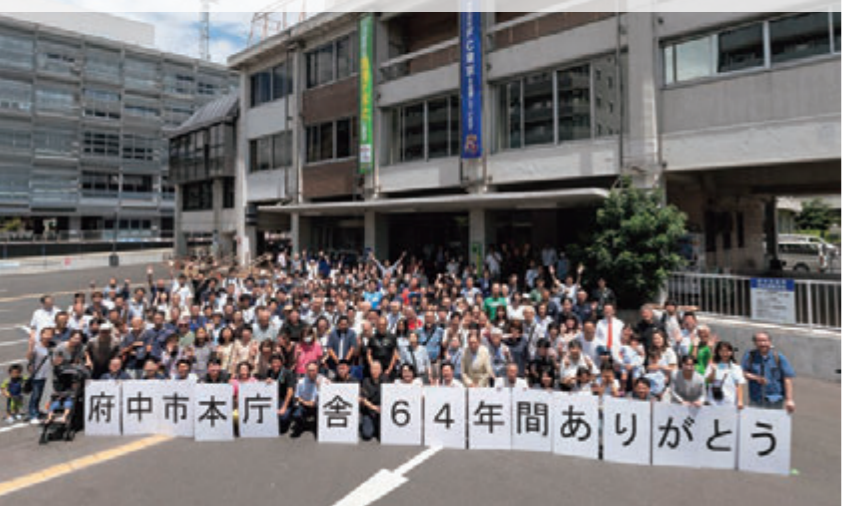
2023

# OPEN UP THE FUTURE!!

令和5年、府中市役所は新しい庁舎に生まれ変わりました



**旧庁舎お別れ会** 旧庁舎にお別れを告げるため、  
令和5年8月6日 たくさんの方々が集まりました。



### memories



### 宿場町のにぎわいをつなぐ新庁舎

令和5年8月14日  
「おもや」での業務開始



新庁舎は、府中駅と府中本町駅のにぎわいをつなぐ場所にあり、用がなくても立ち寄れる、常に人の活気にあふれた「現代の宿場町」のような庁舎をコンセプトとしています。主要な庁舎機能を担う「おもや」と、庁舎機能を補完し、市民協働を支える「はなれ」、市民の多彩な活動を支える「通り庭」の3つの空間で構成されています。令和9年1月から「おもや」と「はなれ」で業務を開始（完全稼働）する予定です。

ともにつむぐまち

case I

心 × 自然



令和5年10月撮影

## 歴史のある街並みを 守っていききたい

府中市立府中第一小学校  
府中市立府中第一中学校  
東京都立農業高等学校

### 国天然記念物 馬場大門のケヤキ並木 保護更新プロジェクト

歴史ある府中市のシンボルとして市民に親しまれている「馬場大門のケヤキ並木」。長い年月を経て衰え、数が減りつつある並木の保護・更新に、若い世代が取り組んでいます。



SDGsとの関連



#### ケヤキ並木の遺伝子を後世に残すために

京王線府中駅西側を中心に、南北に約550m続く「馬場大門のケヤキ並木」が国天然記念物に指定されたのは大正13年。府中市が市制施行70周年を迎える令和6年はちょうど100年にあたります。

並木の歴史は平安時代に遡るといわれますが、近年では樹勢が衰え、枯死するなど本数が減りつつあります。市民に愛されてきたケヤキ並木の遺伝子を残そうと、農業高校や、一小・一中の児童・生徒が保護プロジェクトを行っています。若い世代が自らの手で「まちの宝」を継承していく取り組みです。



#### 四季折々のケヤキに触れて郷土愛を育む

農業高校は平成29年からケヤキ古木の枝の接木試験、ケヤキ並木の植樹帯への直まきなど試行を重ねてきました。令和3年、市と農業高校は「国天然記念物馬場大門のケヤキ並木保護更新プロジェクトに関する連携協定」を締結し、翌年から、一小・一中との共同作業を始めました。3校の児童・生徒が古木から種を採取し、農業高校で数年かけて苗

#### 主な活動内容



##### 1 種拾い

ケヤキの種は葉の付け根に付いていて、秋になると葉と種と一緒に落ちてきます。ケヤキ並木の下で、古木の種がついた落ち葉を拾い集め、種を採取します。



##### 2 種まき

年を越して2月頃になったら、農業高校の農場で、秋に採取したケヤキの種を育苗箱にまきます。1か月ほど待つと、小さな芽が出てきました。



##### 3 苗の育成

苗が15cm程度になったら育苗箱から出して農業高校の農場に移し替え、大切に育てます。1年後には70~80cm、5年で5mほどに成長。



##### 4 植樹

5~6mに育った苗木をケヤキ並木の植樹帯に運んでいよいよ植樹。ケヤキの落ち葉と一小の芝を混ぜ合わせた良質な腐葉土をかけ、成長を見守ります。

として育てたケヤキは、令和5年に初めて植樹帯に植えられました。並木だけではなく、八小や一中にもケヤキの苗が植樹されています。種からの育成だけではなく、土壌改良などにも取り組んでいます。ケヤキの土壌に使う腐葉土は、秋に大量に落ちるケヤキの枯葉と、一小で定期的に刈られる芝を混ぜるなど、自然のサイクルを生かす工夫で作られています。植樹の後も、水やりや雑草取りのほか、苗の成長に伴い適切に間引きを行いながら、大切に育てていきます。四季折々にケヤキに触れて守り育てることで、未来のケヤキ並木を想い、郷土愛を育むことにつながるプロジェクトです。



#### 全国的にも貴重なケヤキ並木を 多くの市民の方々に護っていただいています

大國魂神社宮司 猿渡昌盛さん

古くから大國魂神社の表参道であったケヤキ並木は、ケヤキ並木としては全国で唯一の国指定天然記念物であり、大変貴重なものです。今は市の関係部署が協力して管理と保全を行っています。保護更新プロジェクトや、古木の管理、清掃活動など、市民の皆さんが大切に護っているケヤキ並木ですから、これからも若い人たちははじめ、市内外の多くの人が集う場所になったらいいですね。



ともにつむぐまち  
case II  
地域 × 学生



学生のチカラで、  
このまちはもっと面白くなる

外国につながりを持つ子どもたちへの学習支援活動

日本語を勉強したい子どもたちに、学習支援活動をしている、東京外国語大学のサークル・くりふ。勉強を教えるだけでなく、子どもたちとの交流も大切にしています。

「くりふ」  
東京外国語大学 学生サークル

日本語と学校での学習を支援

くりふは、日本の小中学校に通う外国につながりを持つ子どもが、日常生活や就学・進学でつまづかないよう、日本語の学習や学校の宿題をサポートするなどの支援活動を行うサークルです。1人の子どもを1人の学生が継続して担当し、多文化共生センター DIVE で週1回、勉強の時間1時間+30分の自由時間という内容で活動しています。令和5年秋から紅葉丘文化センターでの活動もスタートしました。

SDGsとの関連



子どもたちの“居場所”を作ることを大切に

学期の終わりには、通っている子の母語にちなんだゲームをしたり、節分には豆まきをしたりと、イベントも実施しています。子どもたちと年齢が近いことで親密になれるのも、学生だからこその強み。日本語がうまく話せず、友達と会話があまりできない子どもは、疎外感を感じてしまう場合が多いのですが、ここに来れば、母語や英語で楽しく会話ができ、また子どもたち同士でも仲良くなってつながりができます。「彼らの“居場所”を作ることで、それがくりふの活動の意義。子どもたちが『ここに来るのが楽しい』と言ってくれるのが、一番のやりがいですね」とメンバーの藤田さんは語ります。



日本語がわかった時のうれしそうなお顔を見るとやりがいを感じます！

子どもの母語での会話は、自分が大学で学んでいる言語の勉強にもなります。



東京外国語大学 寺田凜さん

東京外国語大学 藤田侑里さん

さらに有意義な活動になる仕組みができれば

一方、週1回の学習支援活動だけでは、くりふのメンバーは子どもたちの普段の様子まではわかりません。どの科目でつまづいているか、学校生活で困っていることがあるかなど、子どもたちが通う学校と情報交換をして、それをくりふの活動に生かす仕組みができれば、さらに有意義な活動になるのでは、と学生たちは考えます。また、学校で配られる学級通信をほかの言語に訳すなど、東京外国語大学で学んでいる言語を、子どもたちのために通訳や翻訳で生かせるような取り組みも模索中です。

学生の多様な取り組み

行政や地域社会と、若い世代が共に取り組む事例をご紹介します。

中学生・高校生と一緒に考えるSDGsをテーマに、まちを元気に！

明星中学校・高等学校



令和4年3月に締結した、明星中学校・高校との「地域活性化に関する協働協定」に基づき、SDGs推進校を宣言している同学校との協働で、SDGsを

テーマとした連携事業を実施しています。

生徒の皆さんがこれまで学校で進めてきたSDGsの取り組みを市の職員が教わる場所から始まり、これをきっかけに府中市として何が出来るのか、生徒と市職員がワークショップを行い検討。ジェンダー平等をテーマにした絵本やおもちゃを、市役所おもちゃのキッズスペースに設置したほか、市内の子どもたちを対象にSDGsポスターコンクールを実施するなど、実際の事業につながりました。

行政だけでなく、次世代を担う子どもたちとの協働でSDGsに取り組み、持続可能なまちの実現に向け、引き続き連携していきます。

ミニホースを通じて生き物への興味を育む

東京農工大学 ミニホースの会



アメリカンミニチュアホースは、体高が約83cm以下の小型の馬です。東京農工大学のサークル「ミニホースの会」は現在3頭のミニホースを飼育中。繁殖にも取り組んでおり、これまで4頭の仔馬が誕生しました。病気や出産の時は徹夜で世話をすることもあり、メンバーはみな愛情を持って大切に育てています。

ミニホースは大学近隣の小学校や保育園に連れて行ったり、あるいは大学に子どもたちを招いたりして、触る、えさをあげるなど、馬とのふれあいの機会を設けています。都立府中の森公園などでのふれあい体験も実施しており、子どもたちや地域の方に馬のかわいさを知ってもらい、より身近な存在として興味を持ってもらうため、さまざまな活動を続けていきます。



アップルパイちゃん

ともにつむぐまち

case III

多様性 × 多文化

# いつまでもこのまちで自分らしく生きる



## 外国にルーツがある方の声

市内には外国にルーツがある方が多く暮らしています。令和元年にフランスから来日し、家族と共に府中市内に暮らすクレモンさんに府中での日常生活や、日本人々との交流について、お話を伺いました。

### 故郷を思わせるのどかな環境

府中市は、新宿にもすぐ行ける場所なのに緑が多く、水辺もあって、のどかなところが気に入っています。是政橋のあたりを散歩すれば富士山が見え、自宅から自転車で少し行けば大きな公園もあります。都会での暮らしでは感じられない、ゆっくりした時間の流れを感じています。故郷のシャンパーニュ地方も自然豊かなので、やはりこういう環境に魅力を感じるんです。近所の方々は、散歩や買い物の時によく声をかけてくれます。何度も顔を合わせて挨拶をするうちに、おしゃべりをするようになりました。みんな優しく、特に子どもが生まれてからは「大きくなったね」とか、会話をする機会が増えましたね。

### SDGsとの関連



### 互いの文化の違いを知る楽しさ

日本語を勉強できる場として「府中国際交流サロン」に通っているのですが、それをきっかけに、いろいろな国際交流イベントに参加しています。「国際ふれあい会」ではフランスの文化について紹介し、「平和のつどい」では市内の小中学生と平和について対話をしました。最近では保育園の子どもたちと話す場もあるのですが、例えばお城の写真を見せたら「プリンセスは住んでいますか?」なんて、意外な質問が飛んできて、本当に面白いですね。お互いの文化の違いを知るのは楽しく、私自身も日本語の勉強になるので、こういう活動はこれからも続けていきたいと思っています。

#### オータヴォアヌ クレモンさん

フランス・シャンパーニュ地方出身。令和元年に来日し、日本のアニメーション作品をフランス語に翻訳する仕事をしている。日本人の妻と息子との3人暮らし。府中のお気に入りスポットは都立武蔵野の森公園と東京競馬場。多摩川の土手沿いも家族でよく散歩する。



府中市で暮らすクレモンさん一家

## 府中市パートナーシップ宣誓制度

### 宣誓者の声

府中市では平成31年より「パートナーシップ宣誓制度」を実施しています。この制度を利用したカップル4組にお話を聞きました。

府中市パートナーシップ宣誓制度……一方または双方が性的マイノリティである2人の関係について、パートナーの関係にあることを証明する制度。法的効力はないものの、日常生活におけるさまざまな手続きを円滑にすることで、性的マイノリティの方々の生活上の不便や、生きづらさの解消を目指す。令和4年11月から、東京都パートナーシップ宣誓制度との連携により、東京都の事業などを一部利用できるほか、利用可能な民間サービスも増えつつある。

リサさん  
ラエさん

### ふるさとにどこか似ている府中市が大好き

東京外国語大学の周辺をはじめ、広々とした公園やおしゃれな店の多い府中のあちこちを、休日に2人で散歩するそう。大國魂神社もお祭りの時によく行きます。



南アフリカで婚姻関係を結んだリサさんとラエさん。令和3年にリサさんの大学留学をきっかけに2人で来日しました。まだ日本語が十分に話せないラエさんにとっては、リサさんという家族がいる証明を示せることで、さまざまな手続きがしやすく、心強いそうです。「私たちは府中市が本当に好きです。皆さんとてもフレンドリーで、環境が故郷の国に似ている気がして、ホームシックになりません」。南アフリカはラグビーが盛んで、2人も大好き。ラグビーのまち府中は心の「ホーム」になったようです。

### 一緒に歩いても気にされない寛容さがあります

おさむさん  
レオさん

「府中市は治安も環境も良く、私たちが一緒に歩いてもあまり気にされない雰囲気がいいですね。必要以上にプライベートに踏み込まれず、多様性に対して寛容です」。今後、地域と交流を深め、同性同士のカップルに対する理解を広げていけたらと語りま



多摩川が近いのがお気に入り。川沿いを散歩したりジョギングしたりするとリフレッシュできるそう。買い物に便利な府中駅周辺にもよく足を運びます。

たかしさん  
けんさん

### 制度利用者同士の交流を持ちたい

40年間府中市で暮らし、変化の様子を見てきた2人の感想は「だんだん住みやすくなっていると思います」。朝、大國魂神社やケヤキ並木を通ると賑やかな気分になるそう。



「宣誓した人たちが同士の交流の場があるといいですね。市民の方にもっと理解を深めていただけて、つながりが広がっていくのが理想です」。府中市で一緒に暮らし始めて40年になるシニア世代カップル。パートナーシップ宣誓をしたのは令和4年の秋でした。ただ遺産相続など具体的な問題になるとまだ法的には整っていないのが現状。同性同士のカップルも異性のカップルと同様の権利が得られて、生きづらさが少しでも払拭されればと、宣誓以前よりも強く思うようになったそうです。

### 真剣な気持ちを理解し、家族として受け入れてくれた

ハルさん  
ともさん

親は初めこそ戸惑ったものの、宣誓したことで2人の真剣な気持ちを理解し、受け入れてくれました。「娘が増えたね」と言われた時は感動しました。「わかってもらいたい、という気持ちでした」。親は初めこそ戸惑ったものの、宣誓したことで2人の真剣な気持ちを理解し、受け入れてくれました。「娘が増えたね」と言われた時は感動しました。



府中駅周辺の居酒屋に行くのが2人の楽しみ。「飲んでも歩いて帰れるのがいいんです」。夏は多摩川にコンロを持って行ってバーベキューをするそうです。

ともにつむぐまち  
case IV  
まち × 産業



地域の産業を盛り上げて  
より元気なまちに

府中いちご狩り園・東京いちごカフェ  
関喜良さん・敏孝さん親子

みんなを笑顔にするいちごで地域活性化

分倍河原駅から徒歩で行ける、「ご近所」感覚のいちご狩り園が大人気。園を営むのは、代々続く府中の農家の親子です。

本当においしいいちごを食べてほしい

先祖代々この地で農業を営んできた関さん一家。喜良さんは、田んぼが多かった府中が都市化していく中で、収益性と将来性を考え、いちごを作ることにしました。いちごは追熟しない果物なので、完熟したものを収穫してすぐに食べるのがベスト。「本当においしい状態のいちごを食べてもらいたい」と、いちご狩り園も開設しました。小売店に卸すのとは違い、食べる人の楽しそうな顔を見ることができると、観光農園としてのやりがいを感じています。

SDGsとの関連



DATA

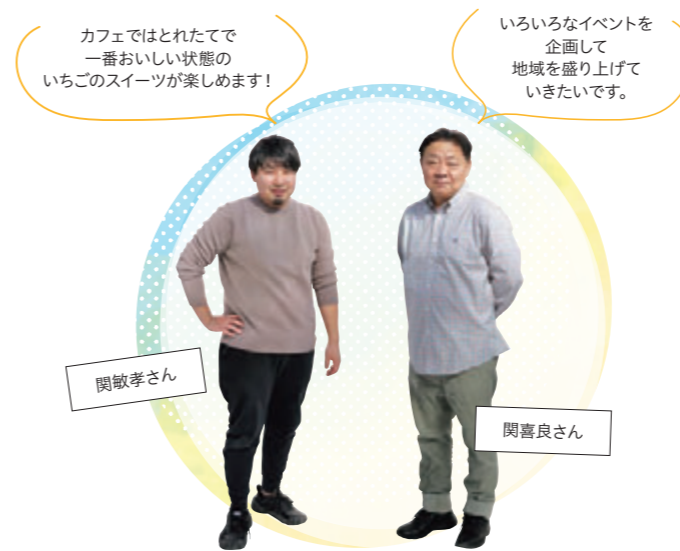
府中いちご狩り園

令和2年にオープン。広いハウスの中で30分いちごが食べ放題。令和6年には、西府駅近くにいちごの摘み取りができる「空飛ぶいちご東京」も開設。



いちご狩りの新しい形が作れたら

同園では毎年いちごの苗植え体験を行っています。参加者が農業を身近に感じられる貴重な体験ということで、人気のイベントになっています。また、ある町内会の行事としていちご狩りを実施したところ、普段は参加されない若い人たちが出席し、新しい交流が生まれたため、地域活性化に一役買えるのではないかと喜良さんは考えています。「府中市や企業などとのコラボでイベントを実施して、市外からも人が呼べるようになるといいですね。いちご狩りの新しい形が作れたら面白いんじゃないかな」。



カフェではとれたてで一番おいしい状態のいちごのスイーツが楽しめます！

いろいろなイベントを企画して地域を盛り上げていきたいです。

関敏孝さん

関喜良さん

いちご狩りのほかにもプラスで楽しめるものを

息子の敏孝さんは、「いちご狩りのほかにも、プラスで楽しめるいちご園にしていきたい」と考え、府中いちご狩り園の隣にカフェをオープン。新鮮ないちご旬のフルーツを使ったメニューは、SNSや口コミで評判が広まり、マスメディアにも取り上げられて大人気となっています。また、令和6年に西府にオープンした空飛ぶいちご東京では、摘み取ったいちごを使ったパフェやジャムなどの手作り体験も企画しています。「府中にも素晴らしい観光資源があることを、もっと伝えていきたいですね」と敏孝さんは意気込みを語ります。



DATA

東京いちごカフェ

とれたてのいちごのおいしさがふんだんに味わえるスムージーやパフェなどのスイーツが充実。そのほか焼き菓子や、朝採れの新鮮ないちごも販売。

まちを元気にする新しい事業

市内の企業が展開する新たな事業が人々の暮らしに役立っています。

「メイドイン府中」の技術力で  
家族の元気をサポートしたい

株式会社 TOKIO Lab (トキオラボ)



トキオラボは、医療機器、家電など幅広い分野で使われる小型ポンプの開発・製造・販売を手がけています。令和4年に発売したのが、携帯できる電動鼻水吸引器SUUPYです。赤ちゃんの鼻水を吸引する器具で、持ち運び可能な便利さ、洗いやすさなどで人気商品になりました。月に1〜2回、全国で行うPRの会では、SUUPYを試用してもらいつつ「メイドイン府中」をアピール。府中市ふるさと納税の返礼品にも登録されました。会社では、市内の大手電機メーカーを退職したシルバー人材を採用し、培った技術力を生かしてもらっています。「子どもの健康は家族の元気のもと。そのために少しでも貢献できれば」と社長の服部さんは語ります。



SUUPY  
(医療機器認証番号  
304AFBZX00091000)

つながりが生まれるスペースで  
市民の起業を応援！

LIGHT UP LOBBY (ライトアップロビー)



LIGHT UP LOBBYは、府中駅北口にあるホテル ケヤキゲート 東京府中に併設された、コワーキングスペースを中心とする複合施設です。「食」の事業に挑戦したい人が利用できるシェアキッチン、ハンドメイド品や自主出版の冊子などを売ることのできるヒトハコストア、カフェ、ギャラリーなどがあり、起業してみたい市民の方々に応援する拠点として利用されています。ホテルラウンジではマルシェ、夏祭り、クリスマス、各種講座など、さまざまなイベントも開催されます。ホテル内という立地のため、市外からの来訪者にも知ってもらうことができ、つながりが広がっていくことも魅力のひとつ。利用者同士の交流によって、新しい何かが生まれる可能性に満ちたスペースです。



# 未来つむぐ風景 その1

## 春夏

## 秋冬

季節を感じるまちだから府中のココが好き!

— 70周年のその先へ わたしたちが残したいもの —

### 春

- 梅 [2~3月] ……郷土の森博物館
- 桜 [3~4月] ……桜通りほか
- ムサシノキスゲ [5月] ……都立浅間山公園



「郷土の森梅まつり」は初春を彩る風物詩。3月下旬からは市内各所で桜が花のトンネルをつくれます。ムサシノキスゲは都立浅間山公園だけに自生する貴重な植物。

### 秋

- 曼珠沙華 (ヒガンバナ) [9月] ……郷土の森博物館
- オギ [10月] ……是政河原
- 紅葉 [11月] ……郷土の森博物館ほか



秋には都立武蔵野の森公園、都立府中の森公園、多磨豊園など市内各所で美しく色づいた紅葉が見られます。遠出しなくても紅葉が楽しめるのは自然豊かな府中市ならでは。

府中は自然がいっぱい!

一年中きれいな景色が見られるよ!

親子3代で自然を楽しむ市民

### 冬

- ロウバイ [12~1月] ……郷土の森博物館
- どんど焼き [1月] ……押立地区ほか



郷土の森博物館にある全長約180mの「ロウバイの小径」は可憐な花と甘い香りを楽しめます。押立地区の小正月行事「どんど焼き」は都内最大級の規模。

### 夏

- アジサイ [6月] ……郷土の森博物館
- おおがはす大賀蓮 [7月] ……郷土の森公園修景池



郷土の森博物館の広大な敷地内には約1万株のアジサイが咲き誇ります。郷土の森公園修景池では大賀蓮をはじめ30種もの蓮の花が夏の朝を爽やかに彩ります。

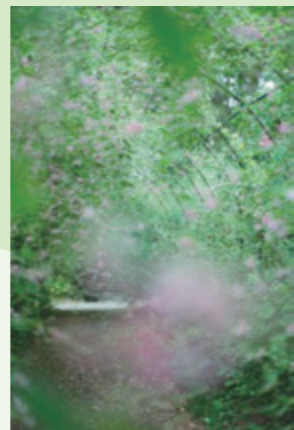
### Photo Gallery

### #わたしの府中

SNSなどで募集した、府中市ならではの風景やお気に入りのスポットなど、魅力あふれる写真をご紹介します。



都立府中の森公園  
四季によっていろんな顔を見せてくれるこの公園が大好き!  
brackcorgi\_tonoさん



萩のトンネル  
[郷土の森博物館]  
咲き誇る萩の花に囲まれて、探検感が増し増し!  
totojiruさん



モミジ  
[都立府中の森公園]  
国内には170本ものモミジが。秋には赤く染まってきれい!  
333japanさん



多摩川河川敷  
珍しく雪が降った翌朝、見慣れたはずの河川敷は別世界のよう。  
nanaaa\_photoさん



# 水と緑

笑顔がほころぶ おすすめスポット<sup>+</sup>



【府中多摩川かぜのみち】

多摩川の堤防に沿って約9.4km続く道。天気によければ富士山が見え、春には桜が満開に。ランニングや散歩のコースとして親しまれています。

Voice

おいしいビールは、  
いい水のあるところでしかつくれません

SUNTORY

サントリー初のビール工場は、昭和38年にここ府中市に誕生しました。  
ビールの原材料の約90%は水。量・質ともに安定した水を確保できることが、ビール工場をつくる上での大前提となります。  
府中市の地層深くには、山間部に落ちた雨が染み込み、自然環境の中でろ過され、ビールに最適なきれいでやわらかい水となって流れています。

だからここでおいしいビールができるんですよ。



サントリー（天然水のビール工場）  
東京・武蔵野  
工場長 梅澤祐輔さん

通称「ハケ」とよばれる府中崖線の一部、西府崖線から常時湧き出ている、現在では貴重な湧水。「東京の名湧水57選」に選定されています。



【西府町湧水】



【水遊びの池（郷土の森博物館）】

郷土の森博物館の広大な水遊びの池は子どもたちに大人気。小さな溪流、岩場、噴水など変化に富んだつくりになっていて、野山で遊んでいるかのような。大人も一緒にしゃがたくなります。



じゃぶじゃぶ!

思いっきり水遊びできるのは  
気持ちいい!



矢崎小の3年生

約550mにわたる並木道は、四季折々に豊かな表情を見せ、府中市のシンボリック的存在となっています。



【馬場大門のケヤキ並木】

府中用水の一部・新田川を地下化し、緑道として整備。多くの樹木が植えられ、一年中散歩が楽しめます。



【新田川緑道】

標高80mの小高い丘には木々が茂り、季節の野草や野鳥とも出会えます。子どもと一緒にハイキングにもぴったり。



【都立浅間山公園】

Photo Gallery

#わたしの府中

SNSなどで募集した、府中市ならではの風景やお気に入りのスポットなど、魅力あふれる写真をご紹介します。



是政橋

多摩川を照らす夕日。  
天気のいい日に見る  
この景色が  
日々のちょっとした幸せ。

yuki\_photo\_gohanさん

ねぎ畑

府中市紅葉丘の  
ねぎ畑に浮かぶ雲!

M9EgzVUGAC8psPdさん



東京競馬場前の木々

紅葉の季節は  
特にきれいだから  
お気に入り&オススメ!

kaaimiyaokaさん

郷土の森博物館

モミジの滝から流れる水と緑。  
自然に囲まれて  
心が癒やされるひと時でした。

ytmopgf5489cdwjさん



# 文化と芸術



個性的で、魅力あふれる美術館です。気軽に見に来てください！

副館長 鎌田亨さん

美術作品の制作過程をのぞいてみよう

Voice

“美術”は意外と身近にあるもの

MAP p.41



府中市美術館

企画展示室・常設展示室のほか、美術図書室、創作室・子ども造形室、市民ギャラリー、ミュージアムショップ、カフェなどを備える。ワークショップ、公開制作、美術鑑賞教室など教育普及活動にも力を入れている。美術館に併設されたカフェでは、開催中の展示に合わせたコラボメニューを提供。ワークショップも行っている。



市内在住の彫刻家 馬場稔郎さん 撮影：いしかわ みちこ

府中市生まれ。明星大学造形芸術学科で木材造形を学ぶ。作品に、動物の姿を借りて人の感情を表現する『animalier (アニマリア)』シリーズなどがある。

自分が美術を勉強し始めた時に開館した府中市美術館。以前からワークショップの講師として関わってきましたが、令和5年に公開制作を行ったことは、とても嬉しく思います。公開制作では、作家活動を行う人とふれあうことで、ものの見方が変わったり、考え方が広がったりすることもあるので、例えば子どもたちに見てもらえたと学校の美術の授業とはまた違う形での教育の機会になるのではないのでしょうか。作家や彫刻が意外と身近にあることを知ってもらえたらいいですね。



キリンは馬場さんにとって大事なモチーフ。

馬場稔郎《白いキリンの夢》2023

## 府中ジュニアジャズスクールが演奏する 本格的なジャズで盛り上がり



市内在住・在学の小学生から高校生で構成されたジャズ専門スクール。メイン講師は市内在住のプロジャズクラリネット奏者・谷口英治さん。活動期間（1期8か月）の間、市内で開催される各種音楽祭に参加します。

MAP p.41

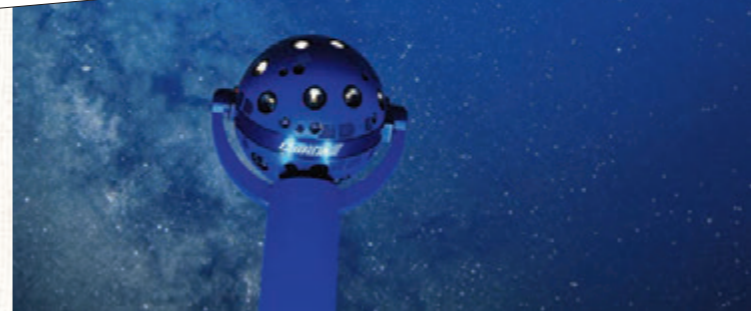


本格的な設備の整ったホールで多彩な舞台芸術に触れる。

府中の森芸術劇場

個性豊かな3つのホールの客席総数は3000以上。クラシック音楽、バレエ、落語などの多彩な舞台芸術を楽しめる。日本音響家協会が選ぶ「優良ホール100選」にも選出された。

## 府中市生まれのプラネタリウムで 宇宙を体験しよう



郷土の森博物館のプラネタリウムは、ドーム径23mで水平型では関東最大級。投映できる星は、なんと1億個。天の川の星ひとつひとつを再現した最新型の光学式投映機は市内企業の五藤光学研究所製。本物に近い美しい星空が楽しめます。

MAP p.41



四季の自然に包まれた園内。府中の歴史も体験できる。

郷土の森博物館

本館では、府中の歴史・文化・自然をテーマに資料や模型を常設展示。年に数回特別展・企画展も開催される。敷地内には、江戸時代～昭和初期の建物8棟を移築・復元。

Photo Gallery

## #わたしの府中

SNSなどで募集した、府中市ならではの風景やお気に入りのスポットなど、魅力あふれる写真をご紹介します。



秋の都立府中の森公園 家族で紅葉を楽しみました。日本庭園が私たちがのお気に入り! mikiluuuさん

夕暮れの大國魂神社参道

家路につく人の影も鳥居の影までもたそがれてます...

sawaganiwasabiさん



花と光のムーブメント

[都立府中の森公園] いつもの噴水、公園がおとぎ話の世界に入ってしまったようです。

fuchu.commsさん



懐かしの京王線

昭和25年8月の京王線車返駅(現・武蔵野台駅)。

鈴木洋さん





**くらやみ祭** [5月3日～6日]

千年以上の歴史がある、大國魂神社の例大祭。数日にわたってさまざまな神事が行われます。色鮮やかな萬燈が操られる萬燈大会、22台の山車が巡行する山車行列などが見どころ。圧巻は5月5日の神輿渡御。花火の合図で、6張の巨大な太鼓の力強い音が響き渡ります。

**府中がいちばんにぎわうお祭り**

華やかで見応えのある行事が満載です!

**未来つむぐ風景<sup>\*</sup> その4**

— 70周年のその先へ わたしたちが残したいもの —

**府中歳時記**

**1月**

- 出初式 [府中公園]
- どんど焼き [押立地区ほか]

**2月**

- 節分祭 [大國魂神社]
- 郷土の森梅まつり [郷土の森博物館]

**3月**

- 市民桜まつり [桜通りほか]

**4月**

- 市民桜まつり [桜通りほか]

**5月**

- くらやみ祭 [大國魂神社]
- 日本ダービー [東京競馬場]

**6月**

- ボールふれあいフェスタ [けやき並木通りほか]
- 郷土の森あじさいまつり [郷土の森博物館]

**7月**

- すもも祭 [大國魂神社]
- 地域まつり [各文化センター]

**8月**

- 商工まつり [大國魂神社]
- けやきフェスタ よさこい in 府中 [府中駅周辺ほか]

**9月**

- くり祭 [大國魂神社]
- 郷土の森 曼珠沙華まつり [郷土の森博物館]

**10月**

- 古墳まつり [武蔵府中熊野神社]
- けやき音楽祭 JAZZ in FUCHU [府中駅周辺ほか]

**11月**

- 酒の市 [大國魂神社]
- 農業まつり [けやき並木通りほか]
- 環境まつり [けやき並木通りほか]

**12月**

- みそか市 [大國魂神社]
- 府中けやき並木イルミネーション [府中駅周辺ほか]

**出初式**



消防団による一斉放水や、陸消防組による木遣り、はしご乗りなど迫力満点の新年の恒例行事。

**市民桜まつり**



市内の飲食店やショップ、団体が自慢の品々を直売。コンサートやゲーム大会も開催。

**地域まつり**



地域住民の輪を広げるため、各文化センターで開催。盆踊り、すいか割り大会など楽しい催しが。

**商工まつり**



参加企業の展示コーナーやステージショー、即売コーナーなど、家族みんなで参加できるお祭り。

**古墳まつり**



武蔵府中熊野神社本殿裏の上円下方墳が幻想的にライトアップ。古墳コンサートやワークショップも。

**農業まつり**



府中産農産物の直売などで府中の農業に親しもう。野菜で作った宝船も展示。

**Photo Gallery**

**#わたしの府中**

SNSなどで募集した、府中市ならではの風景やお気に入りのスポットなど、魅力あふれる写真をご紹介します。



**市民桜まつり**  
昭和50年頃の桜まつりにて。現在の市民球場の南側の道路で撮影しました。  
Sさん



**すもも祭**  
[大國魂神社]  
浴衣選び、ヘアセットもセルフで! すもも祭楽しかった~  
sprout\_899さん  
daisasa474さん



**酒の市** [大國魂神社]  
縁起物の熊手がずらり! 商売繁盛などを祈念する手締めの声が響きます。  
mainichi\_happy\_gohanさん

**ある冬のフォーリス前**  
府中らしい計らいに思わず撮りました。  
enjoy70806さん



# スポーツ

いつでも、どこでも、いつまでも楽しもう!

## この声、届けたい!

市内を拠点とするチームに所属する選手には応援の声もひととき大きくなります



ラグビーワールドカップ2023  
日本代表報告会

東芝ブレイブルーパス東京・東京サントリーサンゴリアスに所属する日本代表選手が、市民の声援の中でけやき並木通り上のレッドカーペットを歩き、トークショーや記念撮影を行いました。

府中市は、スポーツの力をまちの力に生かす「スポーツタウン府中」を掲げ、スポーツを「する」楽しみ、「みる」楽しみを皆さんに届けています。市内には野球場やサッカー場、体育館、庭球場など、スポーツ施設が豊富。年間を通して、スポーツ大会や、気軽に参加できる教室・体験イベントが開催され、年齢や経験を問わずさまざまなスポーツを楽しむことができます。また現在、サッカーやラグビーなどのトップチーム全6チームが市内を拠点に活動中。地元チームと一緒に応援することで、地域への愛着も強まっています。

## 府中市で活動する トップチームとの交流

スポーツイベントや学校訪問など、  
チームの選手と市民の交流も盛んです。

## けやき並木通りでの パブリックビューイング



けやき並木通りに大型のビジョンを設置し、令和5年のラグビーワールドカップ2023日本代表の試合をみんなで応援。東芝ブレイブルーパス東京・東京サントリーサンゴリアスの選手によるトークショーも行われ、会場は大盛り上がりでした。

## わくわく!

トップチームを身近に感じながら、  
いろんなスポーツを体験!



## スポーツの楽しさを体験 ボールふれあいフェスタ

市内を拠点に活動する6つのトップチームの選手と一緒に、各スポーツの楽しさを実際に体験することができるイベント。トークショーやじゃんけん大会、スタンプラリーなど多彩な内容で、選手たちを身近に感じられるイベントです。

## つながろう!

1本のたすきを  
チームでつなぐ遊び



## 中学生から参加できる 府中駅伝競走大会

中学男子・女子、高校男子、一般、一般女子の部に分かれ、5人のチームで走ります。けやき並木通りフォーリス前からスタートし、市街地を周回して市民陸上競技場でゴール。毎回多くのチームが参加する、伝統ある大会です。

## 海外のトップアスリートが 府中にやってきた!

キャンプなどで府中市に滞在した  
海外の代表チームとの交流をお伝えします。

### 卓球



### オーストリア代表

令和3年7月、卓球オーストリア代表チームが東京2020オリンピックの事前キャンプで滞在しました。コロナ禍で公開練習は残念ながら中止となり、選手の移動も制限されることに。

少しでも府中を知ってもらおうと、滞り場所内に市内の風景写真や子ども神輿などを展示。また、日本の夏祭りをテーマに浴衣で射的やボールすくいなどを体験してもらいました。

### 野球

### オーストラリア代表



令和5年、WBC(ワールド・ベースボール・クラシック)の事前キャンプのため、オーストラリア代表チームがホストタウンの府中市に滞在しました。公開練習試合では全府中野球倶楽部ほか日本のチームと対戦。府中市民球場で子どもたちへの野球指導も行いました。また、四谷小学校を訪問し、児童たちとキャッチボールなどの交流を楽しみました。



東芝ブレイブルーパス東京  
[ラグビー]



三小でのタグラグビー授業



東京サントリーサンゴリアス  
[ラグビー]



若松小でのラグビー出張授業



アルバルク東京  
[バスケットボール]



地域まつりでダンス・じゃんけん大会



FC東京  
[サッカー]



市民と一緒に植樹帯の除草・ごみ拾い



府中アスレティック FC  
[フットサル]



小学生・初心者対象 フットサル教室



読売ジャイアンツ女子チーム  
[野球]



市内女子野球チームと合同練習

# 歴史をつむぐ

昔の人々の営みは、いまの私たちにつながっています。街のあちこちに息づく歴史の足跡をたどってみましょう。

いにしえからの記憶

## 原始

旧石器時代  
縄文時代  
弥生時代  
古墳時代

### いにしえから人の暮らしたまち

最古のものは3万5000年前！多くの遺跡が見つかっています

#### 歴史的に貴重な古墳も出土

府中市内最古の遺跡は、武蔵台で出土した3万5000年前の旧石器時代のものです。武蔵台、清水が丘など崖線上の地域からは縄文時代の遺跡が、また東京競馬場構内からは弥生時代の遺跡も発見されています。西府町の国史跡武蔵府中熊野神社古墳は「上円下方墳」という全国でも珍しい形の古墳で、国府が設置される前の有力な豪族の墓とみられています。



国史跡武蔵府中熊野神社古墳  
最下段は1辺32mほど。石室から出土した刀の鞘尻金具の文様には大陸の影響が見られます

#### むさしのくに 武蔵国の中心都市となる

飛鳥から奈良時代に律令制が完成し、日本には地方の行政単位として60あまりの「国」が設けられました。国の中でも交通の便利な場所が「国府」とされ、武蔵国の国府は今の府中に置かれたのです。国府に派遣された国司が住んだ国司館、政治や儀式を行った国衙の遺跡がそれぞれ市内から発掘されています。

「多磨寺」に置かれた瓦（郷土の森博物館）  
「多磨寺」と呼ばれた寺院跡から出土した、都内最古の軒丸瓦

国史跡武蔵国府跡  
柱と建物の位置が復元されています。土器など当時の生活をしのばせる遺物も多く出土



## 古代

飛鳥時代  
奈良時代  
平安時代



## 中世

鎌倉時代  
室町時代  
戦国時代  
安土桃山時代

### 政治と交通の要衝としての府中

鎌倉に直結した府中は、時代を大きく変える戦いの舞台となりました

#### 武蔵国中の信仰を集めた六所宮

鎌倉幕府の時代、鎌倉と直結した鎌倉街道が通る府中は、政治的・軍事的に重要な場所となりました。まちの中心には、「六所宮（のちの大國魂神社）」が鎮座し、武蔵国中の人々から篤く信仰されていました。六所宮を中心に各方面からの道が集まり、現代の道路に受け継がれています。



六所宮（大國魂神社）  
武蔵国の祭神を一か所に祭る総社。明治時代になり大國魂神社と称するようになりました

#### 幕府を滅亡させた激しい合戦

鎌倉時代から室町時代、府中はたびたび合戦の舞台となりました。元弘3年（1333）、新田義貞の率いる軍勢が鎌倉幕府に反旗を翻します。鎌倉街道を南進した新田軍と幕府の軍勢は府中で衝突し、多摩川の渡河点だった分倍河原で激しい合戦が行われました。その結果幕府軍は敗れ、ほどなくして鎌倉幕府は滅亡しました。

新田義貞公之像（分倍河原駅）  
分倍河原で一旦は敗走した新田軍は、翌日援軍を得て再び幕府軍と衝突、勝利を収めます

都旧跡分倍河原古戦場とその碑（分倍町2-59-4）  
昭和10年、歴史的な合戦の舞台となった分倍河原に記念碑が建てられました



都旧跡府中高札場（宮西町5丁目角）  
人が集まる宿場町に、幕府の命令で設置されました

### 人々の往来で文化が育まれる

江戸時代の府中は甲州街道の宿場町として大いに栄えました

#### 甲州街道の宿場町としてにぎわう

江戸時代の府中は、五街道のひとつで江戸と下諏訪を結ぶ甲州街道の宿場として栄えます。大名が宿泊する本陣、役人が常駐する問屋場、お触れを伝える高札場などが設けられたほか、多様な店や商いでたいへんにぎわいました。人々の往来によってさまざまな文化の交流も生まれました。現在の宮町、本町、宮西町近辺が当時の府中宿の中心にあたります。

旧田中家住宅（郷土の森博物館）  
柏屋という屋号で、酒や反物など幅広い商品を扱っていた商家。旅籠屋を営んでいた時期も



#### 人々のために尽力した郷土の偉人

押立村の名主から代官に取り立てられた川崎平右衛門定孝は、江戸中期に貧しい農民を救うため活躍した人物です。畑作に必要な費用を貸して雑穀で返済させ、それを飢饉に備えて蓄えたり、食料の少ない春には人を雇って用水工事をし、その報酬に食料を与えたりと、さまざまな策を講じました。また、玉川上水沿いに桜の木を植えて堤防を補強し、市民の憩いの場を作りました。



川崎平右衛門翁像（郷土の森博物館）  
農民の救済に力を尽くした業績を買われ、幕府から代官に取り立てられ、武蔵野新田、美濃の治水、石見銀山で活躍しました

## 近世

江戸時代

### 近郊都市として発展を遂げる

鉄道開通と大規模施設の誘致で、人口も増え、まちは大きく変わっていきます

#### 京王線の開通で都心が近くなる

大正5年、京王電気軌道（京王線）が開通し、府中に初めて旅客用の鉄道駅ができました。新宿まで約1時間という速さは当時非常に画期的でした。電車の開通に伴ってまちに電気が供給され、人々の生活にも大きな変化をもたらしました。大正6年には多摩鉄道（現在の西武多摩川線）、昭和3年には南武鉄道（現在のJR南武線）の大丸（現在の南多摩駅付近）－屋敷分（現在の分倍河原駅）間が開通しました。

大正時代のケヤキ並木  
馬場大門のケヤキはこの頃すでに古木の風格を見せていました



#### ますます発展する府中のまち

鉄道網の発達、大規模な施設の誘致につながりました。昭和8年に東京競馬場、昭和10年に東京高等農林学校（現在の東京農工大学）が移転、昭和15年には東芝府中工場が建設されました。これらの施設によってまちの人口は増加し、終戦後、府中は東京の近郊都市として大きく発展していきます。

府中駅に停車する京王電気軌道（大正12年）  
京王電気軌道はその後玉南電気鉄道と合併し、八王子まで直通運転されるようになります



開設当時の東京競馬場（昭和8年ごろ）  
目黒から移転。総面積78ヘクタール、コースは一周2100mの大きさ

©日本中央競馬会

## 近代

明治時代  
大正時代  
昭和時代

# 歴史をつむぐ

## 府中市70年のあゆみ① まちの基盤が作られ、大きく発展していきました

### わたしたちの記憶

# 昭和



昭和29年  
市制施行



昭和31年  
旧府中町役場（市役所庁舎）



昭和39年  
東京オリンピック50キロ競歩  
（府中市が折り返し地点となる）

昭和39年  
東京オリンピック聖火リレー

### 府中いまむかし



是政橋

昭和29年  
木造の是政橋



甲州街道



昭和40年  
甲州街道（寿町1丁目交差点）



- 昭和29年 (1954) 4月 府中町・多磨村・西府村の1町2村の合併により府中市制施行／市長選挙で小林茂一郎氏が就任（昭和37年4月まで2期8年歴任）
- 8月 市章制定
- 昭和30年 (1955) 3月 第1回市議会議員選挙実施
- 9月 大森競艇（現・平和島競艇）開始
- 昭和31年 (1956) 3月 水道創設事業着手
- 4月 新甲州街道（東府中～本宿）開通
- 昭和32年 (1957) 2月 二枚橋衛生組合設立
- 5月 是政橋架け替え
- 昭和33年 (1958) 10月 第1回市民体育大会開催
- 12月 都市ガス点火
- 昭和34年 (1959) 5月 町名地番改正開始
- 9月 四小で市内初の学校給食を実施
- 昭和35年 (1960) 1月 現住所地に完成した市庁舎で業務開始
- 昭和36年 (1961) 4月 市立図書館開館
- 11月 新甲州街道（東府中～調布）開通
- 昭和37年 (1962) 2月 交通安全都市宣言を行う
- 4月 市長選挙で矢部隆治氏が就任（昭和54年12月まで5期18年歴任）
- 昭和38年 (1963) 6月 人口が10万人を突破
- 10月 府中市社会福祉協議会発足
- 昭和39年 (1964) 4月 府中駅北口乗降口開設
- 7月 八ヶ岳府中山荘開設
- 10月 東京オリンピック50キロ競歩で府中市が折り返し地点となる
- 昭和40年 (1965) 5月 台風6号により多摩川の堤防損壊
- 昭和41年 (1966) 3月 市民会館完成
- 9月 南武線複線化運行開始
- 昭和42年 (1967) 12月 中央自動車道開通（調布～八王子）
- 昭和43年 (1968) 4月 郷土館（現・ふるさと府中歴史館）開館
- 6月 人口が15万人を突破
- 10月 ダストボックス（みどりの箱）を市内全域に設置
- 昭和44年 (1969) 4月 福祉・振興会館開館
- 10月 市民憲章、府中市の歌、市の木「けやき」、市の花「うめ」、市の鳥「ひばり」制定
- 昭和45年 (1970) 6月 中学校で給食開始
- 昭和46年 (1971) 6月 郷土の森総合体育館開館
- 7月 総合プール完成

- 12月 新関戸橋完成
- 昭和47年 (1972) 5月 「府中町」と「緑町」誕生
- 昭和48年 (1973) 3月 下河原線（旅客）廃止
- 4月 武蔵野線開通（府中本町～新松戸）
- 昭和49年 (1974) 4月 府中駅北口広場開設
- 7月 中河原駅が高架となり使用開始
- 昭和50年 (1975) 1月 京王線北側のケヤキ並木保全工事開始
- 昭和51年 (1976) 7月 小柳公園プール完成（令和3年3月廃止）
- 昭和52年 (1977) 10月 市民医療センター（現・保健センター）開館
- 昭和53年 (1978) 5月 四谷・押立地域センター（現・文化センター）完成
- 昭和54年 (1979) 10月 長野県八千穂村（現・佐久穂町）と姉妹都市提携
- 昭和55年 (1980) 2月 市長選挙で吉野和男氏が就任（平成12年2月まで5期20年歴任）
- 9月 府中グリーンプラザ開館（平成30年3月閉館）
- 10月 分倍河原駅南口の駅前広場完成
- 昭和56年 (1981) 3月 新田川緑道完成／ケヤキ並木の保護棚を一新
- 昭和57年 (1982) 6月 心身障害者福祉センター完成
- 昭和58年 (1983) 4月 府中囃子を市の無形文化財に指定
- 10月 「府中市自転車の放置防止に関する条例」施行
- 昭和59年 (1984) 4月 人口が20万人を突破
- 7月 八ヶ岳府中山荘が新装開館（令和6年3月閉館）
- 昭和60年 (1985) 3月 公共下水道建設事業完了
- 12月 姉妹都市八千穂村に市民保養所「やちほ」完成（令和6年4月民間に譲渡）
- 昭和61年 (1986) 8月 府中市平和都市宣言を行う
- 11月 武蔵台防災センターが完成（市内18か所に防災センターが完備）
- 昭和62年 (1987) 4月 郷土の森博物館開館
- 10月 本宿体育館完成（地域体育館が全て完成）
- 片町文化センター完成（文化センターが全て完成）
- 12月 リサイクルセンター（現・リサイクルプラザ）稼働
- 昭和63年 (1988) 5月 分倍河原駅南側広場に分倍河原の合戦ゆかりのモニュメント完成
- 平成元年 (1989) 5月 郷土の森博物館の入場者数が50万人を突破
- 平成2年 (1990) 8月 ふれあい会館開設（平成30年4月に現住所地に移転）
- 10月 第1回農業まつり開催
- 平成3年 (1991) 4月 府中駅の高架完成
- 6月 府中の森芸術劇場開館
- 平成4年 (1992) 8月 オーストリア共和国ウィーン市ヘルナルス区と友好都市提携

### 府中いまむかし



旧甲州街道

昭和46年  
旧甲州街道（大國魂神社前交差点）



府中駅北口



昭和49年  
府中駅北口ロータリー



昭和42年  
中央自動車道開通



昭和48年  
武蔵野線開通

### column

#### 府中初の鉄道、下河原線とは？

明治43年、多摩川の砂利を運ぶ目的で、国分寺～下河原（現・南町4丁目）間に下河原線は開通しました。東京競馬場開設の際は「東京競馬場前駅」が誕生し、旅客線も開通しました。昭和48年の武蔵野線開業に伴い旅客輸送が廃止され、昭和51年には貨物線も廃止。66年にわたる歴史に幕を閉じました。現在、跡地の多くは「下河原緑道」として生まれ変わり、郷土の森公園へと続く遊歩道となっています。



昭和46年  
宮西町を走る下河原線



下河原緑道

# 歴史をつむぐ

## 府中市70年のあゆみ②

快適に暮らせるまちへ、さらなる発展をとげました

### わたしたちの記憶

# 平成



平成5年  
府中駅の駅舎完成

平成6年  
府中スカイナード完成



平成8年  
フォーリス・伊勢丹府中店  
(現・ミッテン府中) オープン



平成10年  
府中四谷橋開通

### 府中いまむかし



府中駅南口



再開後の府中駅南口

昭和30年代  
府中駅南口の商店街



- 平成5年(1993) 4月 多摩川衛生組合に加入
- 5月 生涯学習センター開館
- 平成6年(1994) 5月 府中スカイナード完成/ケヤキ並木の景観保持と樹木保全のための石垣が完成
- 平成7年(1995) 2月 中河原駅北口にスクエア21・府中市女性センター(現・男女共同参画センター「フチュール」)開設
- 4月 市政情報センターが府中駅構内に開設(現在はル・シーニュに移転)
- 平成8年(1996) 4月 府中駅南口第二地区再開発事業で府中駅南口ペDESTリアンデッキが完成し、フォーリス・伊勢丹府中店(現・ミッテン府中)オープン
- 7月 府中の森市民聖苑開苑
- 11月 府中グリーンプラザ分館開館
- 平成9年(1997) 7月 工業技術情報センター、国際交流サロン開設
- 平成10年(1998) 1月 市のホームページ開設
- 12月 府中四谷橋開通
- 平成11年(1999) 11月 男女共同参画都市宣言を行う
- 平成12年(2000) 2月 市長選挙で野口忠直氏が就任(平成24年2月まで3期12年歴任)
- 10月 府中市美術館開館
- 平成13年(2001) 5月 大國魂神社本殿と馬場大門のケヤキ並木が都の特に景観上重要な歴史的建造物等に指定される
- 平成14年(2002) 8月 府中NPO・ボランティア活動センター開設
- 平成15年(2003) 12月 ちゅうバス運行開始
- 平成16年(2004) 4月 市制施行50周年を迎える
- 平成17年(2005) 3月 府中駅南口第三地区再開発ビル「くるる」完成
- 10月 長野県佐久穂町と府中市が姉妹都市盟約を締結
- 平成18年(2006) 4月 現・光明高倉保育園と介護予防推進センターの複合施設「いきいきプラザ」開設
- 10月 リサイクルプラザを開設し、プラスチック類の分別収集を開始
- 平成19年(2007) 4月 副市長の2人制を実施
- 12月 市民会館と中央図書館の複合施設「ルミエール府中」開館
- 平成20年(2008) 5月 「熊野神社本殿・拝殿」を市の有形文化財(建造物)に指定
- 平成21年(2009) 3月 南武線西府駅開業
- 7月 武蔵国府跡(宮町2・3丁目)が国史跡に指定
- 平成22年(2010) 2月 家庭ごみの有料化・戸別収集を開始
- 3月 武蔵府中くらやみ祭が都の無形民俗文化財に指定

- 4月 人口が25万人を突破
- 平成23年(2011) 4月 ふるさと府中歴史館開館
- 9月 国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館開館
- 11月 府中市郷土の森観光物産館開館
- 平成24年(2012) 2月 市長選挙で高野律雄氏が就任
- 平成25年(2013) 6月 市議会インターネット中継を開始
- 平成26年(2014) 4月 市制施行60周年を迎える
- 10月 市民協働都市宣言を行う
- 平成27年(2015) 3月 府中市マスコットキャラクター「ふちゅこま」が誕生
- 中央自動車道府中スマートIC開通
- 9月 公営稲城・府中メモリアルパーク完成
- 平成28年(2016) 1月 市長選挙で高野律雄氏が再選(2期目)
- 平成29年(2017) 7月 府中駅南口第一地区再開発ビル「武蔵府中ル・シーニュ」オープン
- 市民活動センタープラッツ開館
- 9月 新学校給食センター稼働
- 平成30年(2018) 11月 国司館と家康御殿史跡広場オープン
- 平成31年(2019) 4月 パートナーシップ宣誓制度を開始
- 令和元年(2019) 6月 新たな情報発信拠点施設「183FUCHU FAN ZONE」オープン
- 令和2年(2020) 1月 市長選挙で高野律雄氏が再選(3期目)
- 4月 新型コロナウイルス感染症が流行し、国が緊急事態宣言を全国に発令
- 令和3年(2021) 4月 市内での新型コロナワクチンの接種を開始
- 5月 府中駅南口の旧伊勢丹跡地に「ミッテン府中」オープン
- 7月 東京2020オリンピックが1年遅れで開催され、東京競馬場で聖火リレーセレブレーション(無観客)、市内公道でロードレースが実施される
- 8月 東京2020パラリンピックが開催され、市内では武蔵府中熊野神社古墳公園で聖火リレーの採火式が実施される
- 11月 2050年CO<sub>2</sub>排出実質ゼロを目指すゼロカーボンシティを表明
- 令和4年(2022) 7月 子育て世代包括支援センター「みらい」がフォーリス内にオープン
- 令和5年(2023) 8月 新庁舎「おもや」での業務開始
- 令和6年(2024) 1月 市長選挙で高野律雄氏が再選(4期目)
- 4月 市制施行70周年を迎える
- 子ども発達支援センター「はばたき」開館



平成19年  
ルミエール府中開館



平成21年  
西府駅開業



平成27年  
「ふちゅこま」が誕生



平成29年  
武蔵府中ル・シーニュオープン

# 令和



令和3年  
東京2020オリンピック  
ロードレース開催を記念する  
モニュメント



令和4年  
子育て世代包括支援センター  
「みらい」オープン



令和5年  
新庁舎「おもや」完成

## 子育て



たくさんの子どもの笑顔があふれる社会を目指して、  
誰でも安心して子どもを産み、育てられる環境の充実を図っています

子どもや親子が気軽に交流・相談できる拠点を各地に整備し、子ども食堂などの活動も支援するなど、地域全体で子どもや家庭を支える環境づくりを進めています。

また、妊娠・出産・子育て期の継続的な相談支援をワンストップで行う、子育て世代包括支援センター「みらい」を開設。このほか医療費などの経済的負担への支援や、ひとり親家庭へは、それぞれの実情に合わせたサービスを活用できる環境も整えています。



### PICKUP 事業

#### 子育てについてならどんなことでも力強く支援する 支援施設「みらい」と「たち」、 「はぐ」



子育て世代包括支援センター「みらい」

妊娠から子育てまで、切れ目のない相談支援は欠かせません。令和4年にオープンした子育て世代包括支援センター「みらい」では、子ども家庭支援センター「たち」と連携して、子どもと家庭に関するあらゆる相談に応じるとともに、母子健康手帳の交付や、乳幼児の健康診査などの保健事業も行っています。地域子育て支援センター「はぐ」は、子育て中の方や妊娠中の方がゆっくりと利用できるひろばです。交流できる場の提供のほか、子育て相談、子育て講座なども行っています。



子ども家庭支援センター「たち」

府中駅周辺に、子どもが遊べる「たち」や相談・健康診査が受けられる「みらい」があるので、子育てする上でとても便利です。

「たち」利用者  
宮本さん



#### 未来を担う子どもたちのために「子ども医療費助成」の対象を拡大 高校生までの医療費を無償化

社会の未来を担う子どもたちを、健やかに育てていく上で、安心して医療を受けられることは、何より心強い支えになります。令和5年度から子ども医療費の助成対象を拡大し、乳幼児や児童だけでなく、高校生など（18歳に達してから初めての3月末までが有効期間）も、保険診療でかかった医療費を、所得制限なしで無償化しました。



## 高齢者支援



住み慣れたこのまちでいきいきと暮らし続けられるよう、  
高齢者が活動や健康づくりをしやすい環境を整えていきます

人生100年時代、誰もがいきいきと生活を送り、就労や社会参加を通して、地域の担い手となるよう、通いの場の拡大や情報の提供につとめながら、生涯学習などによる活動意欲の向上や、フレイル予防などの健康づくりも働きかけていきます。また、介護が必要になってからも、高齢者自身が望む生活を送ることができるよう、医療や介護だけでなく、幅広い関係者が一体となって支える地域を作り、住み慣れた地域で暮らし続けられるような仕組みを作っていきます。



### PICKUP 事業

#### 心と体を健やかに！ みんなで楽しくフレイル予防 介護予防事業

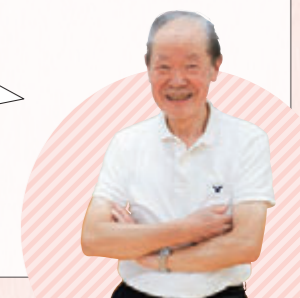


いきいきプラザで開催する介護予防教室（有酸素運動）

フレイルとは、加齢にともない心身の活力が低下している状態を言います。フレイルを予防するためには運動、社会参加、栄養・口腔機能の3つの要素が重要です。市では、いきいきプラザで開催する「介護予防教室」をはじめ、文化センターなどで府中市オリジナル体操などの運動を楽しむ「地域交流ひろば」、5人1組で励まし合いながら運動を続けるアプリ「みんチャレ」の普及などに努めています。

教室でたくさんの人と一緒に体操すると、気持ちも明るくなって前向きになりました。姿勢も良くなり歩ける距離ものびたので、通うのも楽しいですね。

いきいきプラザ利用者  
平林幸次郎さん



## 障害者支援



障害のある人もない人も、誰もが自分らしく暮らせる、共生社会の実現に向けて

令和7年11月に開催される東京2025デフリンピックを契機とし、障害への理解や、差別・偏見の解消、障害のある人への合理的配慮の提供についての啓発活動を促進していくとともに、障害福祉サービスの充実を図り、すべての市民が障害の有無にかかわらず、住み慣れたまちで安心して暮らすことができる環境を整えていきます。

### PICKUP 事業

#### 未来に向かってはばたく子どもを支援 子ども発達支援センター「はばたき」

令和6年4月に開設した、府中市子ども発達支援センター「はばたき」では、子どもの健やかな成長のため、発達または学校生活などで課題を抱える0歳から18歳の子ども及びその家族に、福祉と教育が連携し、ライフステージが変化しても切れ目のない支援を行っていきます。





基本目標  
2

生活  
環境

緑とともに暮らせる  
快適で安全安心なまち

## 環境保全



持続可能な社会のために何ができるか、  
市民や事業者とともに考え行動していきます

環境問題の解決には、市民・事業者・行政などの連携が必要で、世界規模での脱炭素社会の実現に向けた取り組みについて、一人一人が何ができるかを考え、行動することが地球の環境を守ることにつながるという意識を持つことが大切です。

省エネルギーの推進や、再生可能エネルギーの普及により、地球温暖化を防止するとともに、ごみの排出量の抑制、大気や水、土壌環境を保全することで、安全・安心・快適に暮らせるまちを目指します。



### PICKUP 事業

#### 毎月20日は、地域みんなでケヤキ並木や駅周辺を美化活動

地域安全・環境美化の日 — 府中駅前清掃



市と市民・事業者が協力して、空き缶や吸い殻などのポイ捨てを防止し、きれいな街並みを保つことを目的とする「府中市まちの環境美化条例」が平成16年4月より施行されています。

「地域安全・環境美化の日」である毎月20日に、市民・近隣の事業者・その他団体が中心となり、府中駅周辺の清掃活動を実施しています。

立派なケヤキ並木は地域の誇りですから、清掃に参加することにやりがいを感じています。申込みは不要で、清掃用具の貸し出しもしていますから、ぜひ皆さんも一緒にまちをきれいにしませんか。

府中町1丁目新成区自治会長  
甲坂和也さん



Open up  
the  
Future

#### 2050年CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）排出実質ゼロを目指します！

脱炭素をより推進するため、令和3年11月にゼロカーボンシティを表明。市民や事業者とともに環境施策をさらに進め、協働していくパートナーとして、令和3年12月に地域の4事業者、1大学と、「府中市における2050年二酸化炭素排出実質ゼロに向けた協働に関する地域協定」を締結しました。



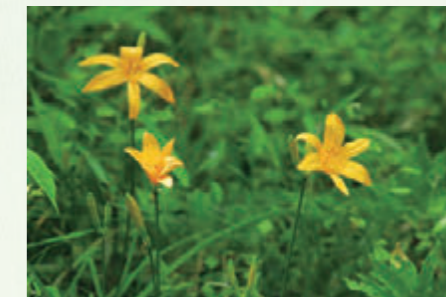
## 緑のあるまち



自然と人間が調和し、自然と共生した社会の実現のため、  
自然環境保全の取り組みや緑のまちづくりを進めています

本市にある多摩川、府中崖線（市内での通称はハケ）、浅間山、ケヤキ並木や農地などの豊かな自然・貴重な生態系は私たちの暮らしを支えており、それらを保護する必要性について、あらゆる方に理解していただき、保護活動に気軽に取り組んでもらえるよう普及啓発を行っています。

また、世代間の交流が生まれる憩いの空間として、公園が維持管理されることが望まれており、市民や市民活動団体、行政などのさまざまな主体が協働しながら、緑の魅力にあふれた空間づくりに取り組んでいます。



### PICKUP 事業

#### 多摩川で楽しく遊んで自然を学ぼう！

府中水辺の楽校



市内を流れる多摩川の豊かな自然。カヌーを漕いだり、手網で魚を捕ったり、水辺の虫を観察したりして、体験しながら学ぶことができます。地域の方たちや団体が国と連携し、平成18年に始めた親子のための活動で、自然環境に慣れ親しみ、ともに遊び学んだ体験を共有できる貴重な機会となっています。

#### 市民の力で公園や緑地の魅力をアップ

府中コミュニティガーデン講座



府中市内の公園をモデルに、コミュニティガーデン＝地域の庭を運営するための知識や植栽デザインの手法、園芸作業の技術などを学びます。市民の皆さんが主体となってつくる花壇は、まちに彩りを添え、地域の方たちの交流の場にもなっています。

地域のお子さんたちが花に水をあげてくれたり、花壇を撮影している方を見かけたりするととても嬉しいです。まちにきれいな花をたくさん咲かせることで、市民の皆さんの心が癒やされると思います。

府中コミュニティガーデン講座参加者  
高村良恵さん



オリジナルのグッズを作製して、  
みんなで身につけて作業しています



基本目標  
2

生活  
環境

防災



いつ起きてもおかしくない自然災害への備えや、防災・減災のための危機管理ネットワークの整備を、地域の中で市民とともに進めています

これまでの防災体制では主に震災を想定してきましたが、令和元年の東日本台風では、風水害対策や情報伝達体制における課題も明らかになりました。資機材の整備や、計画・マニュアルの整備など、公助の取り組みをさらに充実させるとともに、市民や事業者と市が、互いに自助・共助・公助のバランスを考え責任を持って行動できるよう、意識や知識の啓発や普及を進め、地域防災力の強化を図っていきます。



PICKUP 事業

地域の住民が自分たちで築く「災害に強いまち」  
文化センター圏域自主防災連絡会



災害が起きたとき、助けが来るまでは、地域の中で自発的な助け合いが欠かせません。住民同士が救助や避難の誘導をし、避難所の開設や運営もできるよう、市内11か所の文化センターごとに自主防災連絡会の活動を進めています。

自分で自分を守る子どもに育てる！  
子どもへの防災教育



子どもたちの防災への意識や知識を育むために、かくれんぼの動作を避難行動に結びつけながら実践的に学ぶ「防災かくれんぼ」や、かるたやクッキング、スタンプラリーで楽しく学ぶ「おやこぼうさいチャレンジ」など、防災イベントを開催しています。

災害対応には、自助・共助の取り組みが欠かせません。地域の防災訓練などに参加しましょう。

防災危機管理課  
望月直人さん



Open up  
the  
Future

災害に強いまちを支える、地域防災の要

消防団は、それぞれの仕事や学業を持った市民で構成される、非常備の消防機関。災害時には、消防署と連携して消火・救助活動を行い、平常時には、地域の防災リーダーとして防災訓練や火災予防運動などに携わります。



基本目標  
3

文化  
学習

多  
様  
性  
を  
認  
め  
合  
い  
る  
ま  
ち  
と  
文  
化  
が  
磨  
か  
れ  
る  
ま  
ち

スポーツ



誰もがスポーツに親しみ、元気に過ごせる「スポーツタウン府中」の推進を目指して、活動環境を整備し、トップチームとの連携も進めています

年齢や障害の有無などにかかわらず、誰もがスポーツに親しみ、心身ともに健康な毎日を送れるよう、スポーツ活動の普及と促進を図ります。安全で快適なスポーツ環境の整備にも取り組みながら、市内に拠点を置くトップチームやアスリートとふれあったり、その活躍の共に応援できる環境を整えることで、スポーツ振興を図るとともに、スポーツの力をまちづくりに活かしていきます。



PICKUP 事業



スポーツの推進を図るコーディネーター  
府中市スポーツ推進委員会

スポーツやレクリエーションを通して、市民の健康で明るい生活を支える役割を担います。地域のスポーツ事業の計画、地域スポーツ活動の指導・助言などを行いながら、手軽なレクリエーション「府中市30秒チャレンジ・やってみスポーツ」の普及も行っていきます。

学校教育の充実



家庭や障害、国籍などの状況にかかわらず、全ての子どもたちが安心して快適な教育を受けられて、心豊かにたくましく育っていく環境を整えています

児童・生徒が多様な価値観を認め合い、自ら学び、考え、行動し、よりよい自己を実現する力を身に付けることができるよう、学びの充実を図り、子ども一人一人の可能性を最大限引き出します。併せて、いじめの未然防止や長期欠席児童・生徒への支援の充実、特別支援教育の充実などにも引き続き取り組み、全ての児童・生徒の学びを保障する教育活動の充実を図ります。また、これまで進めてきた学校施設の改修や改築の成果と課題を整理し、今後の学校づくりの推進につなげていきます。



PICKUP 事業



子どもたちに笑顔を届ける、国内最大規模の給食センター  
新・学校給食センターが稼働

学校給食は、児童・生徒の心身の健全な発達を助けるものであり、栄養バランスや食文化、食料の生産・流通・消費などを学べる、食育の場でもあります。平成29年に稼働した新・学校給食センターでは、アレルギー対応を含めた衛生管理を行い、全ての市立小・中学校へ安全・安心でおいしい給食を提供しています。

基本目標  
4

都市基盤

産業

魅力あふれる  
おいと活力のあるまち

## 産業



“府中らしさ”を持った求心力のある中心市街地を形成するとともに、都市農業の強みや魅力を活かし、地域と共存した農業を推進しています

府中市がより魅力的な地域となるためには、活力のある中心市街地の形成が必要です。にぎわいと回遊性を創出し、経済活力を向上させることで次世代につなぐ持続可能なまちづくりを進めていきます。

また、農地・農業が豊かな市民生活を支える存在として地域に根ざすとともに、都市農業の強みを活かした農業経営が展開され、農業が魅力ある産業として次へ引き継がれるよう、その維持・発展を目指します。



### PICKUP 事業

#### 出会いやにぎわいが生まれる、まちなかイベント

キテキテ府中マルシェ



この場で知った食べ物や雑貨などに魅力を感じた人が、市内のお店に足を運びきっかけになってくれるとうれしいですね。

けやき並木通りと府中スカイナードに、市内の飲食店や雑貨店が出店し、ステージでは音楽ライブやダンスパフォーマンスなども開催するイベントです。足を運んだ市民が、にぎわいの中で人やモノと楽しく出会える場となることを目指して、平成30年にスタートしました。

キテキテ府中マルシェ事務局  
まちづくり府中の皆さん



#### 体験しながら農業を学び考えるふれあいの場

西府町農業公園



ビニールハウスも備えた広い農地で実際に農業を体験したり、イベントに参加したりしながら、市民が農地や農業の持つさまざまな役割について考え交流する場として、「西府町農業公園」が令和3年にオープン。かまどとしても使用できるベンチ、災害時用の簡易トイレなどの防災機能もある多目的なスペースです。



## まちの拠点整備



再開発事業により回遊性が生まれ、活気やうおいに満ちた中心市街地から、市全域ににぎわいを広げていきます

府中駅南口は、都市計画決定から35年の時を経て、平成29年に完了した3地区の再開発事業によって、安全で快適な都市環境が再生されるとともに、回遊性の向上により、市のシンボルであるケヤキ並木を核とする駅周辺市街地に更なるにぎわいを生み出しました。

令和4年には「中心市街地活性化ビジョン」を策定し、再開発ビル内に開設した市民活動センター「プラッツ」なども活用しながら、にぎわいの創出や持続可能なまちづくりを進めています。今後は、中心市街地から、地域特性を生かして拠点整備を進めていく分倍河原駅周辺地区や府中基地跡地留保地周辺地区などの市内各拠点にも効果を波及させ、市全体の活性化を図ります。



### PICKUP 事業

#### 市全体の活性化につながるにぎわいと活力を生み出すまちづくり

府中基地跡地留保地周辺地区まちづくり事業



府中基地跡地留保地とは、本市に残された最後の広かつ有用な未利用地（約15ha）であり、市全体の活性化につながる「にぎわいと活力」を生み出す土地利用を目指して、取り組みを進めているところです。土地利用に当たっては、希少動植物が息づく自然環境への配慮が不可欠であり、自然を将来にわたり保全することが求められています。市では、自然災害などに対する公共施設の新たな需要を考慮しつつ、「スポーツタウン府中」のブランドイメージを発展させるため、総合体育館の移転を軸に土地利用を検討し、「自然環境の保全」と「にぎわいと活力の創出」が両立したまちづくりを目指して事業を推進します。

#### 地域住民とともに、歩行者中心のまちづくりを進めています

分倍河原駅周辺整備事業



京王線とJR南武線が接続する分倍河原駅の周辺は、府中崖線や線路によって分断された地域特性から、駅周辺の回遊性の向上や更なるにぎわいの創出などに課題を抱えており、30年以上にわたり、地域住民がまちづくりに取り組んできました。

平成30年には、まちづくり協議会からまちづくりの提案が市に提出され、令和2年には、市が具体的な施策を掲げたまちづくり基本計画を策定しました。

現在は、歩行者中心のまちを目指し、地域住民や交通事業者との協働により、駅改良を含む交通基盤の整備や良好な商店街の形成など、さまざまな取り組みを進めています。

社会福祉や公共事業にうるおいをもたらす公営競技

## ボートレース平和島の競走事業は、市の財政を豊かにし、市民の暮らしを支えています

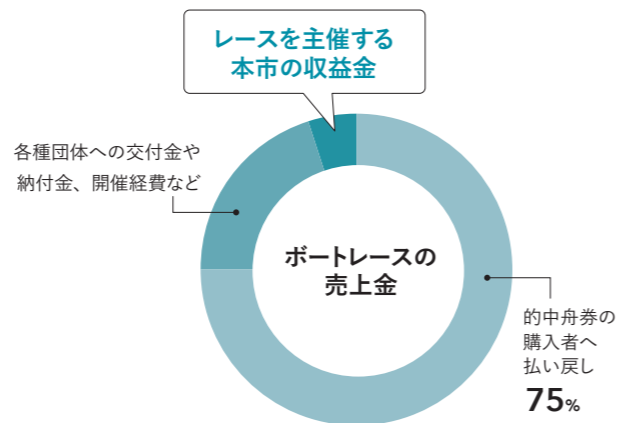
公営競技の中でも人気の高い「ボートレース」。市内にも、ボートレース多摩川という施設がありますが、本市が開催するのは、大田区にあるボートレース平和島（平和島競艇場）です。昭和29年に東京都主催で始まった競技が、翌30年から本市の主催へと移りました。以来70年近く続くこの競走事業は、時代の風潮や景気などによって大きく左右されながらも、その収益から繰り出される拠出金は、本市の財政に豊かさや自主性をもたらしてきました。多くの方楽しんでいただけるよう、魅力的なレースを開催するとともに、イベント・ファンサービスの充実に取り組んでいます。また、貸切バスによる送迎でレース観戦を楽しむツアーなども実施し、市民の認知や理解を促しています。



### 収益金はまちづくりの財源に

#### 競走事業の収益金って？

ボートレースによる売上げの75%は、舟券（舟券投票券）を購入した人への払戻しにあてられます。そして、残る25%の中から、各種団体への交付金や納付金、開催にかかった経費などを差し引いた分が、主催する本市の収益となる仕組みで、その額は売上げのおよそ5%ほどになることが通例です。



#### 収益金はどんなところに使われているの？

文化や教育、福祉の施設整備などに活用されています。特に、昭和40年代の大都市近郊では、学校などの公共施設や道路、下水道などの都市基盤が、人口の急増に追いつかなくなりましたが、本市では、競走事業の収益を財政に活かすことで、他自治体よりも集中的に整備を行うことができました。

#### こんなところに使われました

- 【令和4年度】** 日新小学校・府中第一小学校・府中第二小学校 学童クラブ増築（プレハブ）／新庁舎（基金積立）／小学校トイレ改修工事
- 【令和3年度】** 府中スカイナード歩道橋（甲州街道上部）／多磨駅自由通路整備
- 【平成29年度】** 郷土の森博物館プラネタリウム リニューアル／府中朝日フットボールパーク



府中スカイナード歩道橋



府中朝日フットボールパーク

姉妹・友好都市との交流

姉妹都市 長野県 佐久郡 佐久穂町

美しい高原や白樺の森が広がる、自然豊かなまち

市民保養施設をきっかけに、長野県の旧・八千穂村と昭和54年に姉妹都市となり、その後の町村合併で誕生した、佐久穂町とも姉妹都市となりました。農業体験や森林植林体験などの交流に加え、災害対応などの相互連携も行っています。

名物「さくほーめん」は、本市の学校給食でも好評！

北八ヶ岳の雪解け水に潤され、おいしく育ったお米で作った「さくほーめん」は、「無小麦粉」「無添加」「無塩」の米粉麺。もちもちつるつるとした食感とコシの強さを生かし、炒め物やスープなどの学校給食でも提供され、児童・生徒に好評です。



長野県 佐久郡 佐久穂町

友好都市 オーストリア共和国 ウィーン市 ヘルナルス区

歴史ある旧市街と豊かな森が調和する区域

府中の森芸術劇場が「ウィーンホール」と命名されたことなどをきっかけに、平成4年にオーストリアの首都であるウィーン市のヘルナルス区と友好都市になりました。高校生を派遣し合ったり、施設や学校のあいだで文化交流を行ったりして、親交を深めています。

オーストリア共和国 ウィーン市 ヘルナルス区

#### 令和5年度ヘルナルス区からの派遣生ホームステイ受入れ

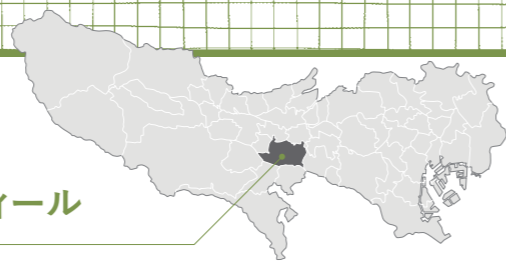
コロナ禍のため見送りとなっていたホームステイ事業を、4年ぶりに再開。7月にヘルナルス区からやってきた6人の派遣生が、市内のホストファミリー宅で10日ほど滞在しながら、施設や学校、史跡などを訪問し、さまざまな体験と学びを深めました。



令和5年度府中市からのホームステイ派遣

# FUCHU CITY PROFILE

## 府中市のプロフィール

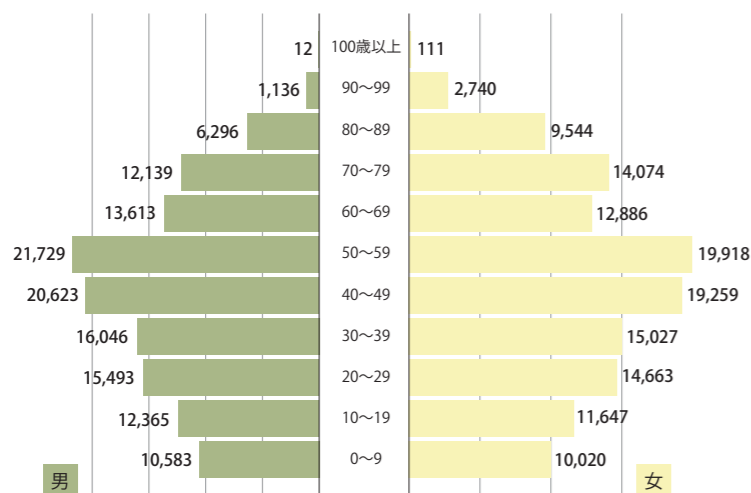


府中市は、東京都のほぼ中央に位置し、副都心新宿から西方約22kmの距離にあります。  
面積は29.43km<sup>2</sup>で、その広がり東西8.75km、南北6.70km。南端に多摩川が流れ、ここから北へ約1.7kmにわたって平坦地が広がり、これより東西に走る高さ約6mから7mの崖線から北へ約2.5kmにわたって立川段丘が広がっています。この段丘は西端で海拔約70m、東端が海拔約40mで、市内で最も高いところは府中市武蔵台3丁目で海拔約82mです。

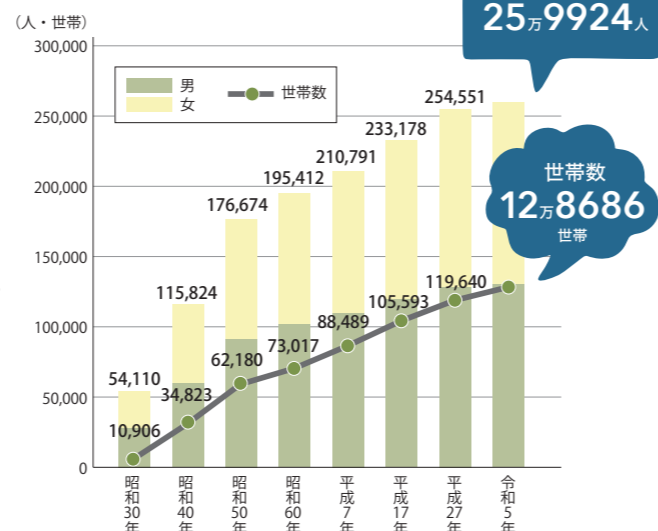
面積	29.43km <sup>2</sup> 東経……139度28分52秒 北緯……35度39分56秒
広ぼう	東西……8.75km／南北……6.70km
海拔	最高……約82m
市庁舎位置	東京都府中市宮西町2丁目24番地

### 数字でみる府中

年齢別／男女別人口構成 [令和5年1月1日現在]



人口・世帯数の推移 [令和5年1月1日現在]



### 外国人の人口 5665人

[令和5年1月1日現在]

- 1位 中国 1688人
- 2位 韓国 775人
- 3位 フィリピン 576人
- 4位 ベトナム 442人
- 5位 アメリカ 274人

### 子どもの人口 3万2557人

(15歳未満)

[令和5年1月1日現在]

- 男 1万6737人
- 女 1万5820人

公園の数 [令和5年3月31日現在]

375か所

公園の面積 [令和5年3月31日現在]

18,711百m<sup>2</sup>

### ごみ収集量 4万3314トン

[令和4年度]

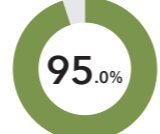
- 可燃ごみ 3万8178トン
- 不燃・粗大ごみ 5136トン

議会 [令和6年]

- 議員定数 30人
- 定例会開催回数 年4回
- 常任委員会設置数 4委員会

市民の定住意向

「ずっと住むつもり」「当分は住むつもり」



[令和5年市政世論調査]

### 市の宣言

#### 交通安全都市宣言 [昭和37年2月26日制定]

社会における最大の幸福は、健康と長寿の保持並びに円満かつ平和な生活の維持である。

しかるに最近、交通事故による不慮の死傷をこうむる者が多数にのぼり、ますますその数の増加を来す傾向にある。

よって本市は、全市民を交通禍から守るために、交通道德の高揚をはかり、もって交通安全都市の理想達成を期す。

右宣言する。

#### 府中市平和都市宣言 [昭和61年8月15日制定]

今、世界の人は、この美しい地球上で、日々安心して暮らせる平和を願っています。

すべての核兵器と戦争をなくし、平和な世界を築くことは、人類共通の差し迫った課題です。

平和憲法から非核三原則を遵守し、すべての国の人々と手を携え、かけがえない地球を真に平和なものにし、愛する郷土を未来に引き継ぐことは、私たちの責務です。

府中市は、平和への誓いを新たに、心から世界平和の願いを込めて、ここに平和都市であることを宣言します。

#### 府中市男女共同参画都市宣言 [平成11年11月3日制定]

わたしたちは、歴史にはぐくまれたふるさと府中を誇りとし、性別を超え、世代を超えて、互いに人として尊重し合い、共にいきいきと輝くまちをつくり続けるために「男女共同参画都市」を宣言します。

- 1 わたしたちは 男女が共に 社会のあらゆる分野に平等に参画するまちをつくります
- 1 わたしたちは 一人ひとりが自立し 認め合い 心豊かに暮らせるまちをつくります
- 1 わたしたちは 職場・地域・家庭において 男女が共に責任を分かち合うまちをつくります
- 1 わたしたちは 国際社会の一員として 平和を愛するまちをつくります

#### 府中市市民協働都市宣言 [平成26年10月19日制定]

歴史と文化、豊かな自然にはぐくまれ、都市としての魅力や活力にあふれる、わたしたちのまち府中。

わたしたちは、将来にわたってみんなが笑顔で暮らし、働き、学び、活動できるように、お互いの信頼関係のもとに協力し合い、支え合うまちをつくります。

そのために、わたしたちは、まちの主役として自らの役割を考え、できることから積極的にまちづくりに参加します。

そして、わたしたちは、ともに考え、汗を流し、一体となって地域課題の解決に取り組みます。

わたしたちは、洗練された輝き続けるまちへのさらなる飛躍を誓い、ここに府中市を「市民協働都市」とすることを宣言します。

### 市民憲章 [昭和44年10月5日制定]

長い歴史と伝統につちかわれてきた府中市。多摩の流れとともに歩みつづけてきた府中市。わたくしたちは、ここに住むことを誇りとし、より平和に、より豊かに発展することを願い、心をこめて市民憲章を定めます。

わたくしたち府中市民は

- 1 郷土を愛し 自然にたししみ 美しいまちをつくりましょう
- 1 互いに尊敬し合い 力を合わせて 明るいまちをつくりましょう
- 1 教養を身につけ 知識を広め 文化の高いまちをつくりましょう
- 1 働くことを喜び 健康を保ち 豊かなまちをつくりましょう
- 1 きまりを守り よい風習を育て 住みよいまちをつくりましょう

### 市章 [昭和29年8月7日制定]



府中の「ふ」と「中」を組み合わせ、市民相互のまどかな結びつきを表現しています。中央には、多摩川の清流をかたどり、市の将来の永遠なる発展を象徴しています。

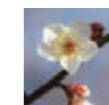
### 市の木・花・鳥 [昭和44年10月5日制定]

#### 市の木「けやき」



すくすくと天高く伸びる「けやき」は、市勢の発展を示唆するかのようであり、子どもたちの健やかな成長を願う市民の心を象徴しています。

#### 市の花「うめ」



百花に先がけて咲く「うめ」は、豊かな市民生活を希求する府中市の姿勢とともに、自然をいつくしむ市民の心を象徴しています。

#### 市の鳥「ひばり」



澄みきった青空に、真一文字に舞い上がる「ひばり」は、だれもが「住みたくする都市」を目指して進展を続ける府中市を象徴しています。

見どころいっぱい  
府中  
まちあるき  
MAP

FUCHU CITY

市民の生活にとけこむ、けやき並木通りの風景



歴史にふれられる史跡がたくさん！（国司館と家康御殿史跡広場）



多くの生き物とふれあえる多摩川



市民に愛される桜の名所（都立府中の森公園）



標高約80mの山頂から、遠くまで見わたせる都立浅間山公園